

平成 26 年 1 月 1 日
事務局
松本市丸の内 3 番 7 号
松本市役所 広報国際課
TEL : (0263) 34-3000
FAX : (0263) 36-6839
健康寿命延伸都市・松本



Matsumoto International Exchange Committee

Newsletter

ソルトレークシティを 訪問しました



7月21日〜27日にユタ州のソルトレークシティを公式訪問しました。ソルトレークシティとは昭和33年に姉妹都市提携を結んで55年目を迎えました。今回の公式訪問団は、市長、市議会議長、ソルトレーク姉妹都市提携委員会会長の他、提携を結んだ降旗市長（当時）のご家族、公募の市民の皆さんら総勢21名、節目の年に相

応しいものとなりました。ロサンゼルスでの乗り継ぎを含め、日本から十数時間のフライトの後にソルトレークシティ国際空港に到着した訪問団は、ホストファミリーやボランティアの皆さんに温かく出迎えていただきました。

到着翌日の22日には、昼間の市内視察の後、提携55周年記念式典が大勢の両市関係者が集う中、盛大に開催されました。来賓として、デンバーから出席された大野郁彦総領事からは、これまでの交流に対してお祝いと、今後の交流発展を期待するお言葉をいただきました。途中、オペラ歌手による余興や、華道のパフォーマンスが行われ、和やかなムードで両市の出席者が交流を深めました。また、式典では松本市名誉市民の推薦が行われ、ラルフ・ベッカー市長はソルトレークシティで11人目の松本市名



誉市民となりました。続いて、ベッカー市長から、2013年7月22日を「松本の日」とする宣言がなされ、今後変わらない両市の友情を互いに確認しました。今回の訪問では市長が、チェルノブイリ原子力発電所事故後のベラルーシにおける医療支援の経験をもとに、今後福島で懸念される放射能の影響について講演を行いました。会場となったユタ州国際貿易センターには環境問題に関心を持つ個人や団体が多く集まり、

ソルトレークシティでの最後の夜、受け入れてくださった関係者に感謝の気持ちをこめて夕食会を開催しました。旅の話に楽しい時が流れ、互いに別れを惜し



熱心に講演に聴き入っていました。ソルトレークシティ滞在最終日は、アメリカ3大パレードの一つとも言われる開拓者パレードが行われました。市長、議長、姉妹提携委員会会長がオープンカーに乗り、沿道を埋め尽くした見学者に姉妹都市松本市をアピールしました。



みました。

予定していた公式の行事が全て無事に終わり、市長は公務の為帰国となりました。訪問団一行は次なる目的地ニューヨークへと向かいました。ニューヨークでは国際連合本部の視察等を行いました。

次の公式訪問は、姉妹提携60周年、2018年の実施となる予定です。

訪問団の主な日程

(7月21日(日)～29日(月))

第1日	松本発 ソルトレークシティ着
第2日	市内視察、55周年記念式典
第3日	市長講演会、郊外視察
第4日	開拓者パレード、さよなら夕食会
第5日	ソルトレークシティ発ニューヨークへ
第6日	国連本部視察
第7日	ニューヨーク市内視察
第8日	ニューヨーク発
第9日	松本着

ソルトレークシティから訪問団が来松しました



ソルトレークシティを訪れて、約1か月後の8月24日(土)～27日(火)の4日間、カイル・ラマルファ市議会議長を団長に、市の幹部職員など計7名が松本を訪問しました。到着日には松本市主催の歓迎夕食会

が開催され、再会を喜びありました。翌日は、姉妹提携委員会主催の昼食会が開催されました。一行は、歴史を感じさせる美しい会場で、懐石料理に舌鼓を打っていました。



滞在3日目となる26日には、松本市の関連部局との懇談を行い、交通政策や都市計画等について意見を交わしました。懇談を行った後、松本市議会を表敬訪問し、両市の議長が今後の交流発展を祈って意見を交わしました。

ソルトレークシティ公式訪問団

(8月24日(土)～27日(火))

- 1 カイル・ラマルファ 市議会議長
- 2 ティフィン・ブラウ (議長婚約者)
- 3 エリック・シヨウ 地域・経済開発部長
- 4 マイケル・アカーロウ 住宅・地域開発部長
- 5 ウィルフォード・ソマコン 都市計画部長
- 6 スーサン・ソマコン (都市計画部長奥様)
- 7 ロビン・ハッチソン 交通部長



リトミシユル市の市長が松本を訪れました



平成24年4月に海外都市交流委員会に入会したスメタナ・リトミシユル会はチェコ共和国のリトミシユル市と交流を続けている団体です。深まる交流に込めて、リトミシユル市のミハイル・コルティシユ市長ほか5名が松本市を訪れました。

リトミシユル市は作曲家スメタナの生誕地であり、また市の中心にあるリトミシユル城は世界遺産にも登録されています。両市は共に街の中心に城があり、音楽祭が開催されるなど共通点があります。

10月18日(金)に菅谷市長を表敬訪問した一行は、両市の今後の交流促進について懇談しました。



グリンデルワルト村村長が 松本を訪れました

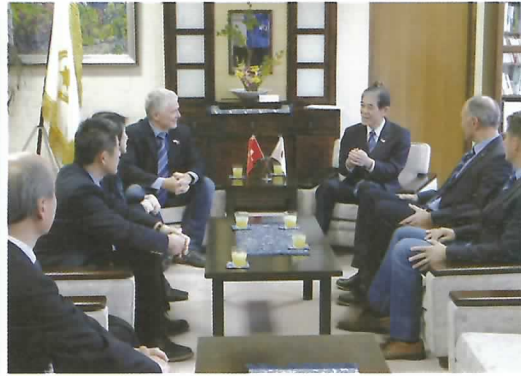


11月11日(月)～12日(火)、グリンデルワルト村の村長ほか4名が松本市を訪れました。今回、一行は東京と大阪で開催された村のPRイベントに合わせて来日、イベント終了後に来松しました。一行は今後の交流事業について事務局と打ち合わせをし、翌日は市長表敬

グリンデルワルト村村長一行

(11月11日(月)～12日(火))

- 1 エマニエル・シユラッピー 村長
- 2 パーター・エツカー 観光局 総監
- 3 フルーノ・ハウスヴィルト 観光局 局長
- 4 安東 一郎 日本語観光案内所 所長
- 5 安東 康代 日本語観光案内所 副所長 (5名)



訪問を行いました。今回の松本訪問は、昨年5月以来のものでした。

第24回 信濃の国 楽市楽座に出展しました



松本市海外都市交流委員会では昨年に引き続き、楽市楽座へ出展をしました。昨年はネパールカレリーの屋台を出展し、カトマンズ市の魅力をPRしました。2014年は日本とスイスが国交を樹立して150周年になることから、本年は、グリンデルワルト村のあるスイスに焦点をあて、名産品の一つであるスイスチョコレートの販売を行いました。開催2日目はあいにくの雨で、お客さんの入りが心配されましたが、用意していた商品は完売となりました。チョココレートを通じてスイスの魅力をアピールするとともに、ソルトレークシティ、カトマンズ市、

廊坊市についても、姉妹都市であることをPRしました。



新会員のご紹介

本年5月「ジョン万次郎20年の会」(横内祐一郎代表)が海外都市交流委員会へ入会されました。同会は、ジョン・万次郎のように、理想を掲げ勇気をもって努力をすること、素晴らしい20年後がやってくることを若者に伝え、世界中から見本となる松本市、そして日本になることを目指す活動をされています。10月には趣旨に基づ

き、同会主催、学生のスイス研修旅行を実施しました。

総 会



5月9日にホテル花月にて定期総会を開催しました。当日は多くの会員の皆様にお集まりいただき盛大な会となりました。事務局より、本年度の事業計画等が示され、賛成多数で承認されました。総会後には懇親会が催され、出席された会員の皆さんが大いに交流を温めました。

(総会会長あいさつ)

松本市長 菅谷 昭



松本市海外都市交流委員

会会長の菅谷昭でございます。昨年4月に3姉妹・友好都市提携委員会を統合し、海外都市交流委員会が発足して一年が経過したわけでございますが、会員の皆様のおかげをもちまして大きな混乱もなく事業を遂行することができ、嬉しく思っております。松本市の海外交流に御理解とご協力をいただいております皆様、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

姉妹都市とは今後も変らぬおつきあいをしていくことはもちろんでございますが、昨年度は中国との諸問題で一部予定された事業が中止となった残念な部分もありました。本会といたしましては、政治的な問題は関係なく地道な交流を進めていくことが肝要と考えております。

本年度はソルトレクシティとの提携が55周年を迎え、ソルトレクシティ姉

妹提携委員会と協力をして、7月には公式訪問団の派遣を予定しております。またソルトレクシティからも訪問団が松本にお越しくださいるように聞いております。会員の皆さんにおかれましては、是非ともこの節目の年の事業に御参加をいただきますようお願い申し上げます。

本年度も会員の皆さんと共に交流の歩みを一歩ずつ進めてまいりたいと思っております。みなさんの変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。会長の挨拶といたします。



事務局だより
「豊かな自然ときれいな水に魅了されて」



たくさんありますので、休日のお出かけが楽しいです。美ヶ原、乗鞍高原、美鈴湖など、そして、近場の国宝松本城、アルプス公園や城山公園なども良い選択です。遠くまで行かなくても、家の周辺に散策に行くと、鳥の鳴き声、きれいな空気、ぶどうの香、どれも大都市では味わえないものです。

事務局の黄 雪玲（こうせつれい）と申します。中国広東省の出身です。高いビルと騒がしい車の騒音に囲まれていた私にとって、静かで豊かな自然を持つ松本はまるで天国のようなところでした。春の桜、夏のツツジ、秋の紅葉、そして冬の温泉、どれも最高です。松本では思う存分四季を楽しむことができます。ちなみに、出身地は中国の南、雪が降らないところなので、こちらの年に数回の降雪も私の楽しみの一つです。松本には観光スポットが

1. 会費納入のお願い
海外都市交流委員会は会員の皆さんの会費で運営されています。今年度の会費のお支払いがお済みでない方は、お早めにお問い合わせいたします。振込先は以下のとおりです。

八十二銀行
松本市役所出張所
（普通） 103120
松本市海外都市交流委員会

松本に来て驚いたことがあります。それは水道水がそのまま飲むことでした。中国では水を沸騰させないと飲めないのです、最初はやはりそのまま飲むのに抵抗があつて、飲めませんでした。でも、いつからかはっきり覚えていないのですが、自分も水道水を飲むようになってきました。特に、福島県の大震災以来、松本のきれいで、おいしいお水がありがたく思いました。そして、温かく接してください。松本の人々にも心から感謝しています。

2. 新規会員募集中!

松本市海外都市交流委員会では入会を希望される方を募集しています。既に国際交流をされている個人・団体はもちろん、国際交流に関心をお持ちの方も歓迎致します。年会費は、個人2千円、団体1万円。お申し込みは事務局まで。